

果樹病虫害発生予察調査結果（4／24調査分）  
（三条、加茂、田上地域）

4月24日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- 有効積算温度によるふ化期盛期は、クワコナカイガラムシで**5月4日頃**、ウメシロカイガラムシで**5月10日頃**、クワシロカイガラムシで**5月26日頃**です。今後の気象条件や園地状況により発生が早まる場合もありますので、ふ化状況を確認し、防除適期を逃さないよう早めの防除を心がけましょう。
- フェロモントラップによるナシヒメシンクイの誘殺数が多くなっています。第1世代幼虫の防除時期は**5月上旬～中旬**と予測されますので、丁寧な防除に努めましょう。特にモモ園地では誘殺数が多いので注意しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに200花そう葉を調査しました。

- 一部の園地で、**花腐細菌病**による「がく」の黒変症状が散見されています。り病枝を確認したらせん除し、園外で処分しましょう。
- 今回調査で**黒星病**の被害葉は確認されませんでした。5月中旬頃まで子のう胞子の飛散が続き、降雨で感染リスクが高まります。昨年多発した園地や湿気の多い園地は特に注意が必要です。通風の改善等にも留意しましょう。
- 一部の園地で**セイヨウナシ褐色斑点病**のり病葉が確認されました。り病葉を確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに100花および100葉そうを調査しました。

- 一部で、縮葉病り病葉が確認されています。花腐れ症状(灰星病)は確認されませんでした。発病花を確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 一部で、せん孔細菌病春型枝病斑が確認されています。特に、樹の上部で多発すると直下の枝葉で被害が大きくなる恐れがあります。見えづらい場所ですが、丁寧に確認しましょう。また、風雨により拡散しますので、発病枝は切除し園外で処分しましょう。

※ 薬剤防除は防除暦の散布時期ではなく、生育にあわせた対応をお願いします。

次回調査は5月8日(金)です。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020